

日本英学史学会 中国・四国支部
平成 28 年度 第 2 回 (通算 75 回) 研究例会 (倉敷研究例会) のご案内

日 時： 2016 年 12 月 10 日 (土) 13:00 受付開始
会 場： ノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高等学校 記念館 2 階会議室 〒701-0195 岡山県倉敷市二子 1200
参加費： 会員，非会員とも無料

開会行事 (13:30~13:40) 支部長挨拶，会場校挨拶

研究発表① (13:40~15:20)

「岡山県の中学校・高等学校における英語教育に関わった人たち」 山田 昌宏 (本学会会員)
「山田昌宏先生のご発表を受けて」 能登原 昭夫 (元山陽学園大学)

先に『岡山県中学校・高等学校英語教育史年表』を作成したが，これは県内の中・高の英語教育に関する研究会，研修会，研究発表，研究論文，生徒の活動成果及びそれらに関わった方々，その他関係する国の施策等を時系列で年表形式にまとめたものである。今回はこの中から関わった人物の中で登場頻度の多い方を取り上げ，大学等，行政 (指導主事等)，中学校・高等学校関係者別に，どのように英語教育に関わったかを具体的な事例を通して紹介したい。

研究発表② (15:40~16:40)

「明治末期小学校英語読本のリーダビリティ分析 (その 1) : The Mombusho English Readers for Elementary Schools を中心として」

河村和也 (東京電機大学) 松岡博信 (安田女子大学) 馬本 勉 (県立広島大学) 小篠敏明 (広島大学名誉教授)

本発表は，明治期~現代の英語教科書の英文難易度 (リーダビリティ) を新開発の指標で量的に測定・比較する共同研究の中間報告である。今回分析された教科書は，明治 30~40 年代に高等小学校で用いられた宮井安吉 (1900)『小学英語読本』(1~4 巻)，神田乃武 (1901)『小学英語読本』(1~4 巻)，井上十吉 (1902)『小学英語新読本』(1~4 巻)，文部省 (1908)『小学英語読本』(1~3 巻)，計 15 巻であり，分析に用いた指標・ソフトは，Ozasa-Fukui Year Level, Ver. 3.5 nhnc1-6 である。発表では，特に，文部省『小学英語読本』を詳細に分析し，現行教科書との英文難易度の比較結果を示しながら，併せて他の 3 教科書の基礎データとの比較も行いたい。これらの量的分析を通して，当時の小学校英語教科書が現在の中学校教科書とどのようにつながっているのか究明していきたい。

閉会行事 (16:45~17:00) 副支部長挨拶，写真撮影

忘年懇親会 (18:00~)

倉敷ステーションホテル海鮮料理「白壁」 栈敷席
JR 倉敷駅より徒歩 3 分，会費 5,500 円

お願い

- ・研究例会，ならびに忘年懇親会のご出欠を，11 月 30 日 (水) までにご回答ください。
(ファックス，郵送の方は，同封の申込用紙をご利用ください。メールの方は eigaku@tom.edisc.jp まで)
- ・12 月 10 日 (土) にご宿泊をされる方は，各自でご手配ください。JR 倉敷駅 (在来線) 周辺が便利です。

倉敷研究例会アクセスマップ

会場： ノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高等学校 〒701-0195 岡山県倉敷市二子 1200



マップは清心中学校・清心女子高等学校ウェブサイトより

J R を利用の場合

岡山駅から：山陽線下り列車（快速は除く）で3つ目の「中庄駅」で下車。所要時間約10分。
倉敷駅から：山陽線上り列車（快速は除く）で1つ目の「中庄駅」で下車。所要時間約5分。

中庄駅からのアクセス

① タクシー利用

改札口を出て右側（北側）の階段を降りてタクシー乗り場へ。清心高校まで約5分（料金1,000円弱）

※ 通常数台が駐車しているが、万一出払っているときは次に電話して呼ぶ。

吉備タクシー 086-462-1515

岡山交通・両備タクシー 086-460-0555

※ 理事会出席者は坂を登って高校校舎玄関前で下車，会議室棟1階会場へ
研究例会出席者は，坂の途中の守衛詰り所前で下車，記念館2階会場へ

② バス利用

改札口を出て右側（北側）の階段を降りてバス乗り場へ。

岡山駅行きのバスに乗車，清心学園口下車。所要時間約5分。

中庄駅発 9:55, 11:40, 12:10, 13:10

※ バスの便は少ない上，清心学園口から丘にある校舎まで坂を徒歩で10分程度歩くことになるのであまりお勧めできません。

高速道路を利用の場合

山陽自動車道「倉敷IC」，または瀬戸中央自動車道「早島IC」から，いずれも約10～15分